

2023年2月27日

各位

株式会社三井住友銀行

扶桑薬品工業株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、扶桑薬品工業株式会社（代表取締役社長：戸田 幹雄）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、扶桑薬品工業株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 安全で質の高い生殖補助医療用製品の開発・製造・販売や、人工腎臓用透析剤等の基礎的な医薬品の安定供給を通じた、人々の健康、安全・安心への貢献

目標 3 すべての人に 健康と福祉を	3.7 2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスをすべての人々が利用できるようにする。
	3.8 すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。

- ② ボイラーの燃料転換によるCO2排出削減や包材のプラスチック削減検討を通じた環境負荷削減

目標 13 気候変動に 具体的な対策を	13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。
---------------------------	--------------------------------

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



「命育む」
不妊治療関連 製品の
開発・製造・販売



免震構造や自家用発電機
により安定供給に寄与する
舞洲物流センター



重油から天然ガスへ
環境配慮目的の燃料転換
CO2 排出量：約▲30%

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上